


提出 順番	No. 10	平成28年11月25日 午前・ <del>午後</del> 1時10分
----------	-----------	--

平成28年11月25日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 野原恵子 

## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 介護保険制度改定による「新総合事業」の進捗状況は</p>	<p>介護保険制度は2000年4月から導入され、これまで家族介護に依存してきた日本の介護保障制度を大きく転換し、「介護の社会化」が達成されると語られてきました。しかし、介護保険の給付水準は、要介護度ごとに給付上限（支給限度額）が設定されており、それを超える利用については保険が適用されず全額自己負担となり、低所得者ほど介護保険サービスの利用を控え、家族介護への依存が高まっています。</p> <p>介護保険が始まってから、2004年以降、年間10万人以上の方が親族の介護を理由に離職しており、親族の介護を苦にした介護心中などは、2006年以降、毎年50件以上起きています。</p> <p>介護保険制度がはじまって16年になりますが、2006年、2008年、2011年に制度が改定され、サービスが後退しています。さらに、2017年4月からは要支援者サービスのホームヘルプとデイサービスを「介護予防・日常生活支援総合事業」（新総合事業）として市町村の裁量に委ねられ、すでに十勝管内ではスタートしている町村もあります。</p> <p>6月議会で新総合事業の課題について質問しましたが、これから検討していくと答弁されていた点が数多くありました。</p> <p>来年度からスタートする事業であり、要支援者のサービスが確保されるよう手立てを講じていかなければな</p>

りません。4月まで3カ月に迫っていますが、幕別町ではどのような事業を実施していこうとしているのか、住民説明会を行い住民に周知していくことも急がれます。

「新総合事業」の進捗状況について伺います。

1 幕別、札内、忠類地域の2016年の高齢化率と要支援者数は。

2 幕別、札内、忠類地域の2025年、2035年の高齢化率と要支援者数の推計は。

3 地域包括ケアシステムは、介護、医療、住まい、予防、生活支援を一体的に提供するとされ、町は2025年までに構築していくとしているが、高齢化やサービス提供事業所の現状、地域づくりの促進からも急がれる課題である。

① 介護、医療など関係機関との連携はどこまで進んでいるのか。

② 要支援者サービスの提供者は住民主体等となっているが、ボランティアなど人材育成・確保の現状は。

③ 住民の助け合い活動は、現行のサービス利用を前提に地域づくりを促進するものに。

④ 地域ケア会議は介護保険法に定められ制度化されたが、要支援者のサービス抑制を招く場にさせないこと。

⑤ 生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）と協議体の設置状況は。

⑥ 制度改定周知のための住民説明会の開催を。

⑦ 町民が利用しているサービス事業者へ、事業内容の説明を。

4 サービスの提供に必要な新総合事業費が不足する場合は、一般会計から繰り入れすること。また、国に対しては、「事業費上限設定」を廃止し、必要な費用を保障するよう求めていくこと。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。